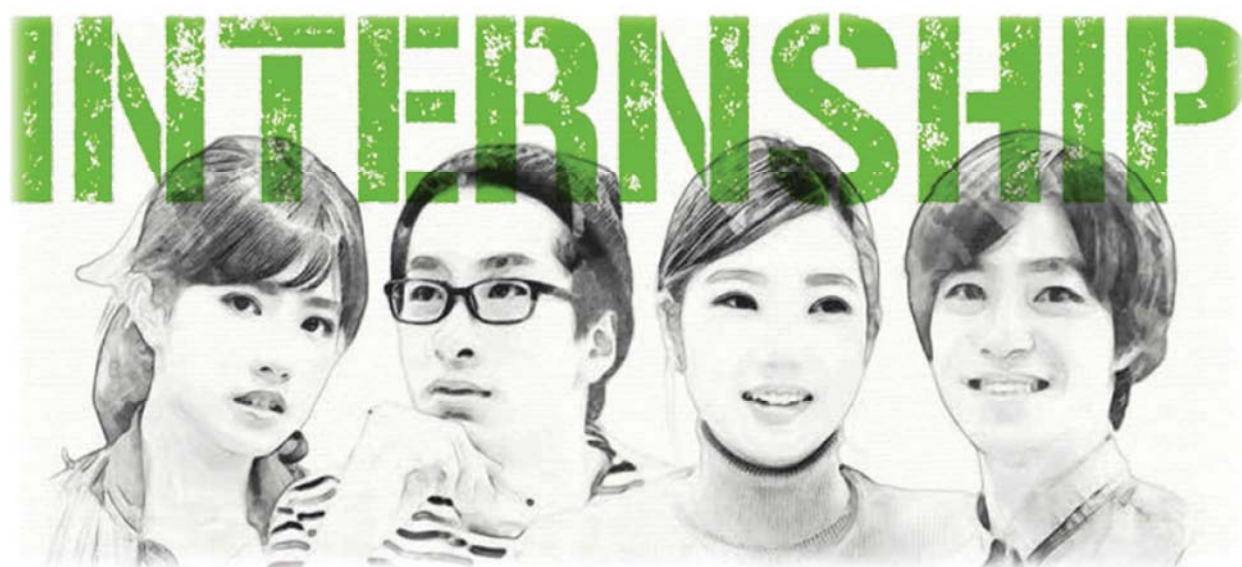


地方創生インターンシップ推進会議  
平成 29 年 (2017 年) 4 月 11 日

## 地方創生インターンシップ の推進に向けて (長野県)

- ポータルサイト「シューカツ NAGANO」に  
よる U I ターン就職支援 (P. 1)
- 信州エクスターンシップ事業 (P. 3)
- 信州産学官連携インターンシップ・マッチン  
グ事業 (P. 7)
- 大学生海外インターンシップ支援事業 (P. 7)





# 就活支援ポータルサイト 「シューカツNAGANO」を開設しました

長野県では、新規学卒者の県内就職を支援するため、就職活動に関する情報をまとめて発信する就活支援ポータルサイト「シューカツNAGANO」を本日、新たに開設しました。

## ●ホームページ名

就活支援ポータルサイト



## ●URL

<https://shukatsu-nagano.jp/>

●開設日 平成 29 年 3 月 31 日（金）

●対象者 県内就職を希望する学生

## ●主なサービス

- ★ 就活関連イベント情報の掲載
- ★ 県内自治体等の採用情報の掲載
- ★ 就活に役立つ情報をまとめた「シューカツNAGANOメールマガジン」の配信
- ★ 採用意欲のある県内企業情報（約 900 社）の掲載（リンク）

## ●掲載情報の登録について

就活関連イベントの情報や自治体等の採用情報の登録を受け付けています。

登録を希望する場合は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

長野県産業労働部労働雇用課雇用対策係

TEL : 026-235-7201 E-mail : koyotai@pref.nagano.lg.jp

掲載  
無料

※企業や団体等が単体で開催する会社説明会やインターンシップ等の情報は掲載できません。



# “信州で就職したい” そんな学生に 直接アプローチ!!

## 長野県内への就職の意欲が 高い学生にアプローチ

シューカツNAGANOには、県内就職に役立つ情報を掲載しています。ユーザーは県内就職を本気で考える学生が中心です。

## メルマガ配信・スマホ対応 若者に届く情報発信

学年に合わせたメールマガジンの配信や、スマホ対応、さらにLINE@での情報発信など、今の若者・学生のライフスタイルに合わせた情報発信を行っています。

## 長野県が運営する 信頼性の高い情報サイト

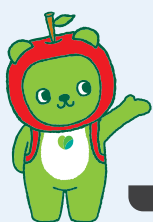
シューカツNAGANOは長野県公式の就活支援ポータルサイト。数多くある就活情報サイトの中でも信頼性抜群です。県内自治体の採用情報も掲載しています。

## 就活イベントの情報を 掲載しませんか？

シューカツNAGANOでは、就活イベントの情報掲載を行っています。掲載は無料です。イベント開催予定のある方、ぜひシューカツNAGANOにイベント情報を掲載して、集客に活用してください。

掲載方法等の詳細は  
シューカツNAGANOをご確認ください。

掲載  
無料



©長野県アルクマ



シューカツ **NAGANO** 長野県  
就活支援ポータルサイト

主な掲載内容 ・ 企業と出会うイベント情報 ・ 県や市町村等の職員採用情報  
・ 先輩社員の経験談 ・ 各地域の企業情報掲載サイトの紹介  
・ メールマガジン(購読無料)配信 など



<https://www.shukatsu-nagano.jp/>

シューカツNAGANO

検索

お問い合わせ 長野県 産業労働部 労働雇用課 雇用対策係

〒380-8570 長野県長野市南長野幅下692-2 TEL 026-235-7201 FAX 026-235-7327 E-Mail koyotai@pref.nagano.lg.jp



しあわせ信州

# 2016信州エクスターンシップ

## 信州から、インターンシップの新しい風が、吹き始めた!

インターンシップには、就活の準備をするための「インターンシップ」と、社会体験を広げることを目的とした「エクスターンシップ」があります。

長野県労働雇用課では、このエクスターンシップの考え方に注目して、首都圏では経験できない長野県の産業・企業の実態に触れ、そこに働いている社会人とのリアルなコミュニケーションの場を提供する「第1回信州エクスターンシップ」を、平成28年8月の夏休みに実施しました。

本特集は、インターンシップの最新トレンドとして注目されている「信州エクスターンシップ」の参加学生の感想や指導された先生方のインタビューを交えて、1週間にわたるプログラムをご紹介します。



参加学生のみなさん、受け入れ先のみなさん、関係者・スタッフと。(撮影 平成28年9月3日)

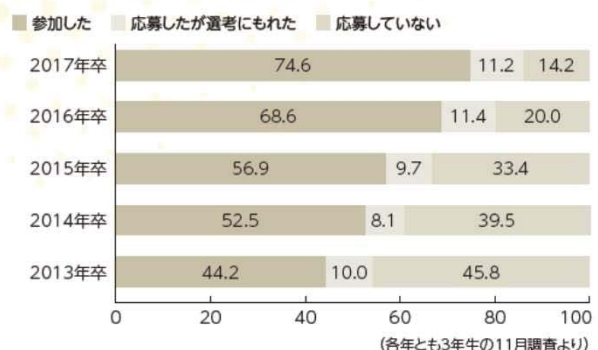
### ■ 就活のためのインターンシップだけでいいの？

エクスターンシップ、この少々耳慣れない言葉についてご紹介する前に、もう少しインターンシップについて考えてみましょう。インターンシップは本来、専門的で高度な職業経験を積むために集中的に行うものを指していました。たとえば教育学部の教員志望の学生であれば、学校現場で1か月ほどの「教育実習」をするといったことです。しかし日本では、就活を控えた3年生・修士1年生が行う「プレ就活」を一般的にインターンシップと呼ぶようになっています。具体的には、会社見学、仕事体験、グループワークなど、企業が用意した内容にそって1週間から2週間の活動を体験し、業界や企業やそこにある仕事の理解を進め就活の参考にしようとするものです。

最近ではその動きがさらに加速して、就活をする学生の7割がインターンシップに参加してから就活に進んでいくという調査結果がでるほどの広がりを見せています(※1)。インターンシップはすでに就活自体のプロセスに組み込まれているといっても過言ではありません。就活が短期化する中、働くことをより実践的に体験するイン

ターンシップは非常に重要ではありますが、果たしてそれだけで十分なのか。学生のうちにもっと他にも必要な準備はないのか、そんな問題意識で本稿を読んでほしいと思います。

※1 インターンシップ参加経験



調査概要  
調査対象：2017年3月卒業予定の全国の大学4年生(理系は大学院修士課程2年生含む)のうち、1社以上のインターンシップ参加経験者  
回答者数：664人(文系男子207人、文系女子224人、理系男子146人、理系女子87人)  
調査方法：インターネット調査法  
調査期間：2016年3月15日～24日  
サンプリング：キャリアス就活2017 学生モニター  
(2016年卒以前は「日経就職ナビ・就職活動モニター」)  
◆本資料に関するお問い合わせ先：03-4316-5505 / 株式会社ディスコ キャリタスリサーチ

## ■ インターンシップだけではわからないことがある。

ではインターンシップの他に準備しておきたいことは、どんなことなのでしょう。

卒業して実際に働き始めると、就活ではわからなかったさまざまな実態が見えてきます。それはやがて、この会社に入社してよかったのだろうか?自分はこの仕事に向いているのだろうか?といった自問自答になり、それをきっかけに「働きがい」とか「生きがい」といった人生全体にわたる価値観を模索し始めることにもなります。

大卒の就職者のうち、3年以内に3割がやめてしまうというショッキングな調査結果を覚えている方も多いことでしょう(※2)。このデータは、入社後、就活時の期待と社会や企業の厳しい現実とのギャップに戸惑い、その現実を受け入れることも、折り合うことも、乗り越えることもできないままで、早期離職の道を選んでしまうということを物語っています。

入社後に直面する社会や企業の現実を冷静にそして前向きに受け入れるためには、キャンパスの外でおきている「社会の現実」を直視し、「社会人」として働きがいや生き

がいについての多様な価値観や判断力を醸成しておくことが必要なのです。プレ就活として業界や企業研究、仕事体験をすることが主な目的となるインターンシップだけでは培えない課題が、ここにあります。

就活に直面する3年生になる以前から、一人の「社会人」として必要なさまざまな体験を積み、そこから得られる現実認識を糧に主体性をじっくりと育てておくことが、インターンシップ自体の成果を、より確かなものにするといっても過言ではありません。

※2 新規学卒就職者の在職期間別離職率の推移(厚生労働省の調査より)

年次	離職率
1年目	12.8%
2年目	10.0%
3年目	9.1%
計	31.9%

### 「プレ就活」としてのインターンシップと「信州エクスターンシップ」の特徴

	インターンシップ	信州エクスターンシップ
目的	● 就活のための業界・企業・職業体験活動	● キャリア教育としての「社会体験」や「コミュニケーション能力」育成
対象学生	● 3年生、修士1年生(※短大1年) ● 応募する企業に関心をもっている学生	● 主に1年生、2年生(3年生も可) ● 長野県出身学生や地方に関心をもっている学生
期間	● 1日～2週間(夏休み、冬休み、春休み)	● 1週間(夏休み)
場所	● 希望する企業など、1回のインターンシップでは1社となる	● 長野市研修施設に滞在 ● 長野市周辺の企業・JA・地方自治体など異業種を2社 ● 地域・農業施設などで農業体験
単位	● 多くは認定なし	● 参加6大学のうち、2大学で単位認定。
プログラム・カリキュラム	● 事前・事後授業は大学毎で。 ● 当日のカリキュラムは受入れ企業が作成	● 事前・事後授業 ● 企業見学 ● 経営者・社員インタビュー ● 地域・農業体験
参加費	● なし	● 1万円
応募	● 就職情報業者の就活ナビ等 ● 大学経由	● 大学経由

注 「信州エクスターンシップ」は、平成28年度実績による。

## ■「信州エクスターンシップ」が目ざすものとは。

インターンシップだけでは得られない「社会体験の場」を提供することの他に、「信州エクスターンシップ」には、もう一つ重要な目的があります。それは、長野県で働くことを就活の選択肢とするために、県内の産業・企業・団体等の活動、そして生活する場としての地域社会の魅力や最新動向を提供する「場」でもあるということです。

実は長野県の高校3年生のうち、毎年7割が県外の大学に進学していることをご存知でしょうか。そのうち過半数が首都圏での大学生活を選んでいきます(※3)。そして卒業後長野県にUターン就職をする学生は県外進学者のうち約3割程度といわれていて、長野県の若年層人口減少の一因になり、県内企業の求人難を加速させ地域経済への影響が心配されています。

また、いったんは長野県を離れても卒業後は生まれ育った長野県で働きたいと願う皆さんも多いのですが、実際は県内の求人情報不足のために現実的な就活の対象になりにくいという声もよくお聞きします。

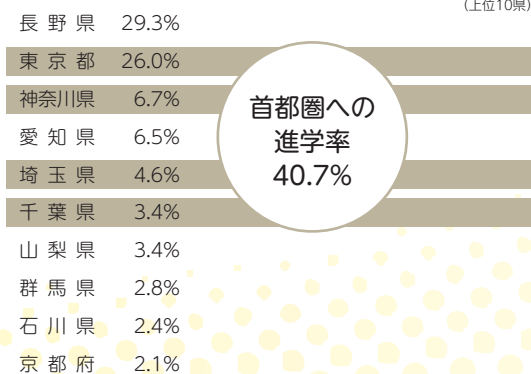
そのため長野県では、すでに全国の40大学と「Uターン就職促進協定」(※4)を結び、3年生や修士1年生を対象にしたUターン就職の支援を積極的に行っていますが、この

「信州エクスターンシップ」ではさらに1年生、2年生にも支援の対象を広げ、長野県の最新動向を収集し、来るべき就活時には長野県へのUターン就職を現実的な選択肢にしてほしいと願っているのです。



初日のオリエンテーション。阪井先生から「本気」のエール。

※3 長野県内高校出身者の進学先の状況



平成27年度 都道府県別大学等進学者数(長野県単独調査)

※4 長野県Uターン就職促進の協定締結校

(平成29年1月30日現在 40校)

愛知工業大学	明海大学	京都橘大学
東京都市大学	戸板女子短期大学	明治大学
埼玉工業大学	千葉商科大学	大妻女子大学
京都女子大学	高崎経済大学	同志社大学
龍谷大学	日本工業大学	専修大学
帝京科学大学	大東文化大学	拓殖大学
相模女子大学	新潟薬科大学	神奈川工科大学
実践女子大学	山梨学院大学	日本大学
立命館大学	山梨学院短期大学	青山学院大学 社会情報学部 <sup>※2</sup>
神奈川大学	国土館大学	東洋大学
共立女子大学	東京家政大学	東海大学
成城大学 <sup>※1</sup>	金沢工業大学	獨協大学
駒澤大学	山野美容芸術短期大学	
大月短期大学	跡見学園女子大学	

※1 学校法人成城学園との連携に関する協定を締結 ※2 社会情報学部のみと締結

## ■ 「地域滞在型」「経験学習型」プログラムで、社会人としての「成長」を目指す。

「信州エクスターンシップ」の主な対象は、1年生、2年生です。第1回目となる平成28年度では、長野県Uターン就職促進協定を結ぶ大学を中心に6大学から37名の大学生が参加しました(※5)。



鈴木先生から「本気インタビュー」を学ぶ。

全体的なプログラムは、長野県労働雇用課と連携した明治大学社会イノベーション・デザイン研究所が、「キャリア教育」の専門家である大学の先生方の協力を得ながら開発にあたり、7日間にわたる充実した内容につくりあげました。

その特徴の一つは、長野市の研修施設に滞在して、参加者合同で研修や宿泊をしながら受け入れ先企業などに外かけていくという「地域滞在型」のプログラムであるということです。初めて出会う学生同士で7日間を一緒に過ごし、長野市の自然環境や街並みに包まれながら、そこで働き、暮らす人たちと触れ合い、日常の大学生活では得られないさまざまな「異文化体験」をしていただくことにありました。

また、受け入れ先への訪問、そこでのインタビュー取材活動、そのための事前準備や事後のまとめなどはすべて4~5人からなるグループ単位で行われました。初対面の学生同士の共同作業は、お互いの意見のぶつけ合い、その葛藤から生まれる「創造性」をへて、共有の目的を達成するというプロセスであり、参加者のみなさんにとってはキャンパス内では体験しがたいコミュニケーション力を鍛える貴重な機会になりました。

とくに最終日となる7日目の成果発表会のために行われた前日の共同作業では、徹夜で取り組んだグループも出るなど、ご指導された先生方やスタッフをやきもきさせていましたが、当日の発表に臨む学生たちの表情は、みなさん達成感にあふれたものとなりました。

### ※5 「信州エクスターンシップ」参加大学

参加大学	学生数
青山学院大学	16
跡見女子大学	5
神奈川大学	1
拓殖大学	5
中央大学	6
明治大学	4
計	37名

参加学生の帰省先	学生数
首都圏	22
長野県	4
静岡県	2
その他	9
計	37名

参加学生の学年	学生数
1年生	4
2年生	20
3年生	13
計	37名

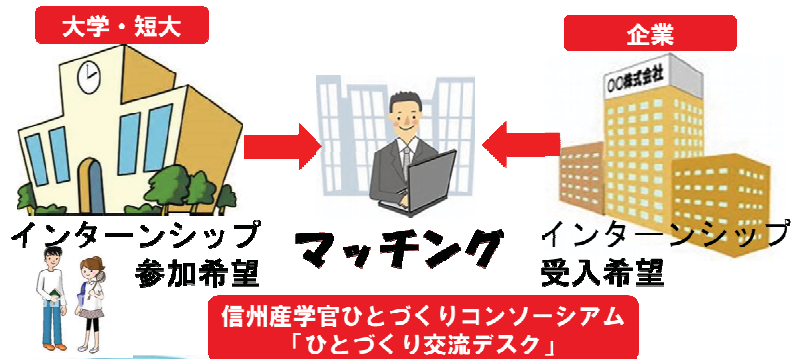
### 1週間のタイムスケジュール

8月28日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>午前 東京からのバス移動</li> <li>午後 宿舎&amp;研修所にチェックインオリエンテーション</li> <li>夜 振り返りと翌日の準備(グループワーク)</li> </ul>
8月29日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1ラウンド A社(1日目) 受け入れ先カリキュラム体験</li> <li>夜 振り返りと翌日の準備(グループワーク)</li> </ul>
8月30日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1ラウンド A社(2日目) 受け入れ先カリキュラム体験</li> <li>夜 振り返りと翌日の準備(グループワーク)</li> </ul>
8月31日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2ラウンド B社(1日目) 受け入れ先カリキュラム体験</li> <li>夜 振り返りと翌日の準備(グループワーク)</li> </ul>
9月1日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2ラウンド B社(2日目) 受け入れ先カリキュラム体験</li> <li>夜 振り返りと翌日の準備(グループワーク)</li> </ul>
9月2日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業収穫体験(リンゴの収穫)</li> <li>午後 成果発表会準備</li> </ul>
9月3日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>午前 成果発表会</li> <li>午後 修了式、さよならパーティ</li> <li>東京へバス移動</li> </ul>

## ●信州産学官連携インターンシップ・マッチング事業

### ポイント

「長野県産学官協働人材育成円卓会議」の議論を踏まえ、県内企業と大学・短期大学の学生をつなげるインターンシップのマッチングの仕組みを産学官協働で構築し、H28から運用を開始した。



【マッチング・スケジュール】

- 2月 受入企業募集
- 5月 参加学生募集
- 6月 マッチング
- 8～9月 インターンシップ実施



### 実績

[平成28年度]

- ▼学生応募人数 102人
- ▼企業受入希望社数 72社
- マッチング結果 49社・95人



第4回産学官協働人材育成円卓会議 (28.2.15)

## ●大学生海外インターンシップ支援事業

### ポイント

県内の大学・短期大学におけるグローバル人材の育成を促進するため、産業界と連携し、意欲ある学生の県内企業海外事業所でのインターンシップを支援する。(H28年度事業開始)

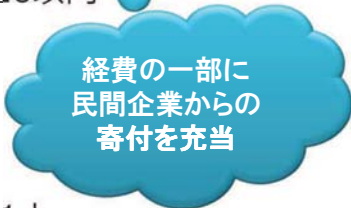
県内大学の学生が海外インターンシップに参加する場合の経費を補助する。

- ▼対象者 県内大学・短期大学の学生
- ▼補助金額 1人200千円以内
- ▼補助率 10/10以内

### 実績

[平成28年度]

- ▼学生応募人数 11人
- ▼企業受入希望社数 7社
- マッチング結果 5社・8人
- 企業からの寄付 6社・55万円 (所要経費の約64.0%(概算))



学部	研修先	期間
経済学部	ベトナム	8日間
工学部	ベトナム	8日間
工学部	ベトナム	5日間
工学部	中国	8日間
工学部	タイ	7日間
理学部	タイ	15日間
環境ツーリズム学部	台湾	7日間
環境ツーリズム学部	中国	8日間